

## 炊事日誌——昭和七年度

〔表紙〕昭和七年一月廿日 炊事日誌簿 山形県自治講習所第十七期

〔黒インクで印刷された用紙を使用している。欄外上部に「当番者ハ当日礼拝迄記載ノ上炊事主任ニ必ず提出スベシ」とある。昭和9年の炊事日誌と同様、月日と曜日、朝昼晩の人数、「所感」欄、「特ニ献立及ビ料理ニ就イテノ所感及ビ希望」欄（以下では「所感希望」と記載）、来客、当番者氏名、検印名の各欄のみを写す。日々の献立は1月21日の「記載例」と同じように、朝は麦入り御飯と味噌汁、昼はパンとジャムやバターかクリーム（砂糖や牛乳、卵で手作りしたもの）、晩は具沢山の汁物の日が多い。空欄になっている時は記さない。〕

一月二十日 水 朝 人、昼 5人、晩 6人

所感…希望にみちた昭和七年の新春をむかへ、今日ここに、又六十有余名の健児をむかへたる感激は実に形容の言葉を知らず。団らんの最高潮は食事に存すると思ふ時、我等炊事当番の任務や重且大。

所感希望…

第一番目なので何も彼も思ふ様に働けなかつた。今晩のサツマ汁の材料（牛蒡、人参、葱等）が少し足りない様な気がした。もう少し多く使用すべく準備はした。

来客…所長先生食す

当番者…齋藤寿一、武田正、砂糖賢三

検印…須藤

1月21日 木 朝 6人、昼 6人、晩 6人

所感…第十七期生の（第最初）炊事当番は己だ。炊事当番は悪い事にあらづ。修養の実習には変りはない。其第一線に立つた。其の一線が実に気にいつた。

所感希望…今晚の豆腐汁は一九三二年式と言うので、始めて見て聞いて聞いて、御馳走になった。食前は長岡君の料理を一寸安づる位であつたが食して見れば、とてもおいしい又とない程であつた。〔この豆腐汁の材料は里芋、豆腐である。〕

来客…

当番者…遠藤忠雄、古川森弥、管野章、武田正

検印…須藤

〔欄外上部に「記載例」とあり、助手による見本の頁らしい。〕1月21日 木 朝 62人、昼 61人、晩 63人

所感…蛋白質、温量（カロリーの事）、錢価は調査未完成にて完成次第□表記入する様にする。

所感希望…沢庵は勿方と本数と両方を記入する事。

1月22日 金 朝 69人、昼 60人、晩 61人

所感…入所致し第一回炊事当番と有り、自分等でやつて見るとそうたやすくできるものではない事をしり、家にあつたる時わがまゝな事をいつた事がくいられてなりません。所感希望…同一品物にて料理の仕用によりこうもおいしくなるとは我れながら長岡さんの実力には感心致すほかない。〔以下、赤色〕しっかりと指導を受けらるゝ事を切望す。〔以上赤色〕

来客…〔赤色で〕十四期齋藤博芳君夜一食

当番者…遠藤忠夫、古川森弥、菅野章、森光夫

1月23日 土 朝 65人、昼 65人、晩 66人

所感…現在約六十名の食料を炊事する我々当番者の任務の重きを知る。然るに食料は充分に營養分があつても炊事場不衛生であつてはならぬと思ふ。異に煙突の如きなり。所感希望…初めての料理やる我々は一定の献立に依つて料理を、しかも美味しいのを調理すると非常に面白く思つた。水道の便利なること感謝す。もう少し物を洗ふに都合すること望む。

来客…—

当番者…古川森弥、遠藤忠夫、森光夫、古瀬吉蔵

1月24日 日 朝 66人、昼 61人、晩 65人

所感…入所する我等五拾七名の炊事当番にあたり実に家庭における母の難義なる事を痛感した。

所感希望…同じ品物にて長年苦勞した長岡さん調理によつて、さてもおいしい料理が出

来る事は炊事一同感服の次第であります。

来客…一笑会長

当番者…森光男、古瀬吉蔵、管野栗太郎↑安食代人

1月23日 月 朝 67人、昼 65人、晚 66人

所感…今日の炊事するに当り、寒き事を感じ、且又人生間の団結精神を我等五名は感じた。

所感希望…今晚の料理に就まして所感を述べます。第一、六十六名が腹一ぱいに食した事。殊二長岡さんが料理場を奇麗にする事。「赤字で「解らぬ」「之の表はさんとする事が不徹底だ」とあり」

来客…朝一笑会長

当番者…古瀬吉蔵、管野榮太郎

1月26日 火 朝 66人、昼 66人、晚 65人

所感…団欒の第一は会食であらう「あらう」。然して我々当番はその食物調理すべき任に当つたのだ。果して衆人の満足する様な調理が出来得るか否かを心配した。多年の御経験を積まれた長岡君の御指導のもとに、何の不平もなく出来たと云ふのは実に有難かつた。感謝の至りである。

所感希望…特に所感はありません。たゞ朝、火を焚き付けるときに焚木が濡れて居るのか燃えつかぬのが閉口だ。焚付るものがあればよいと思ふ。「以下赤色」焚き付けを備へる。「赤色は( )」

来客…講師山田与之助氏

当番者…菅野栗太郎、安食喜一、安孫子久

検印…須藤

1月27日 水 朝 人、昼 65人、晚 人

所感…我々は自治講習所に入所してから初めて炊事当番にあつた。なにも分らない。

長岡君の命令によつて料理をし、然も美味しいを調理し、炊事終了後は整理整頓は厳正にやつた。以上

所感希望…三日間炊事当番中に飯汁と交代に研究と体験を味ふた。

来客…安済先生

当番者…阿部盛雄、安孫子久、柴田敏夫、小野功

検印…須藤

1月28日 木 朝 6:5 人、昼 6:3 人、晚 6:5 人

所感…私は十九年来今だ六十五人の炊事はまだ始てである。本当にゆかいである。又仕事して居る内に大へんきよ味が有ります。又長岡君は今日休んだから心配しました。又御飯が出来る迄では気がゆつくりしませんでしたが、出て見れば思ひの外うまく出来ました。でも大変きよ味が有りますね。

所感希望…三日間炊事をしたら面白くてたまりません。仕事をして居る内に面白味が出来て私は一週間も仕て見たく成りました。させて下さいませんか。

来客…山田先生

当番者…安孫子、武田（元衛）、小野功、柴田

検印…須藤

1月29日 金 朝 6:5 人、昼 6:5 人、晚 6:5 人

所感…炊事といふ炊事は始めてゝある。だからやらない内は気がかりだった。しかしやつて見れば何でもなかつた。世の中の万事かくの如きものであらう。何事にも確固たる信念を以て進むべきである。一度失敗すれば多数の諸君に迷惑をかけなければならぬと思へば、今更の如く責任の如何に重大であるかを体験することが出来た。今後一層努力する。

所感希望…第一日、なかなか薪に火がつかないので困つた。第二日より古紙が焚付けとしてあつたので大助りだった。二日目三日目、今度こそみんなの満足するやうに出来得る限りやつて見た。果して諸君の満足を得たであらうか？

来客…佐藤先生

当番者…小野功、柴田敏夫、武田元衛、奥山信義

検印…須藤

1月30日 土 朝 6:5 人、昼 6:4 人、晚 4:5 人

所感…炊事当番と言ふ任についたのは生れて始めてなので、失敗すればと言ふ責任が

有るので非常に心配した。「以下赤色」苦痛にあらず、理想に至る奮闘のそれだ。それだけ自分と云ふものが自治寮四十余名の生命を背負ふて居る事の責任感であり、自分と云ふ小さな生命が自治寮と云ふものと不可分な密接の関係にあるのだ。「以上赤色」所感希望…二日三日目と経験を積んでくると面白くて何日もやつて見たい様な気がしたが後から来る番をまつ事にした。

当番者…武田元衛、奥山信義、長谷部十右衛門、舟山正悦

検印…須藤

1月31日 日 朝<sup>45</sup>人、昼<sup>25</sup>人、晩<sup>45</sup>人

所感…僕等は炊事当番に当たつたのは去る廿九日よりでした。朝五時半に炊事場へ飛び込んだが、何からしてよいかさっぱりわからなかつた。経験のある茂木君や須藤君の御指導のもとにやりました。次の日から面白くて、せめて拾日も続けてやつてみたい様な気がしました。

所感希望…今晚の飯は水が多い様でしたから、非常に失敗したかと想つて心配してあつたが、想つたより上出来でありました。此の次から諸君の満足に足る様な料理を造り得る自信があります。「以下赤色で」自信はかなり、されど自惚を…となる事を戒むべし。「赤色は( )まで」

当番者…奥山信義、舟山正悦、長谷部十右エ門

検印…須藤

2月1日 月 朝<sup>45</sup>人、昼<sup>45</sup>人、晩<sup>45</sup>人

所感…入所後第一回の炊事当番であつて充分に動く事が出来なかつた。二、三日したのでよほど炊事の事もわかつて来た。二回目よりはもつと働らこうと思つた。「以下赤色で」追進!! 「赤色は( )まで」

所感希望…特に献立に就ての所感はありません。「以下赤色で」味噌（学校分）四貫匁出ス。「赤色は( )まで」

来客…「赤色で」日直所長先生摂食「赤色は( )まで」

当番者…相田栄助、舟山正悦、長谷部十右エ門

検印…須藤

2月2日 火 朝<sup>45</sup>人、昼<sup>45</sup>人、晩<sup>45</sup>人

所感…私は今迄炊事の事は一度もやった事がありませんので、私どうしたらよいかと思ひましたが、茂木君の御指導の御蔭で難なく終りたる事を私は喜んで居る次第です。所感希望…私は家に居る時、種々な物を食われなかつたが、今は何も食はしても非常にうまいたべられます。特に馬鈴薯がうまいのです。

当番者…相田栄助、小野憲、齋藤登

検印…須藤

2月3日 水 朝<sup>45</sup>人、昼<sup>46</sup>人、晩<sup>45</sup>人

所感…僕は今日で二日だ。今静かに自分の過去を振かへつて見ると、かぎりなく自分のすぎた事が悲しくなる。なぜなれば過去に於て自分の食事さへろくに料理出来なかつたから。しかし今自分は尊い経験を得た。特に夜のフライについては、食ふ事は知つてゐるが、そのよつて来る所をしらない。「以下赤色で」過去を顧みて反省するはよきも悲しむは消極的かとも思ふ。知らぬが故に知らんとし及ばぬが故に及ばんと真剣の努力奮闘は困難を超越し断切して、ほんとに我等を天晴れならしめる。「赤色はここまで」

所感希望…朝の御飯は俗にゆうメツコだつた。その原因は多分水が少ないためだつたと思ふ。もう少し今度は水を入れやう。夜のフライは恐らくみんなが此の上なく好んだらしい。たゞじやがいもだけ、もう少し安く、しかもなんとかあのまゝで加工する事を考へたい。「この日の夕食メニューは冷凍のさけのフライであつた。」

しかし、今自分ハかうした事を知り得た。

最後に自分の特に感じたのは自己の炊事と言ふ分担を通して、自分の完全なる分担を通してなした事によつて、はじめて四十幾人の人が飯を食ふ事が出来るのだから、すべてをなし終つた時初めて自分は天晴……な心になり得た。終り。

「以下は赤色で」馬鈴薯のみならず米麦以外の主食に就いて研究が必要であり加工も考へねばならぬ。そこまで研究し加工も考へたいと思ふ。「赤色はここまで」

来客…山高「山形高等学校」安齋教授、「以下赤色で」所長、船越先生「赤色はここまで」

当番者…小野憲、相田栄助、齋藤登

検印…須藤

2月4日 木 朝 45人、昼 45人、晩 45人

所感…僕は此の当番をやつて居たが、茂木君が来て米をたいてくれるやら、そこいらをすみからすみまであの牛乳をしぼったりする。いそがしい事で掃除をしてくれて、僕は何を云つてよいかわから無い。唯、あゝ有難い。僕はもう掃除をされ無い内に早くしてやりたいと思つた。

所感希望…僕は朝炊事をやる時、手が棒の様になつて非常につめたいが、然し船越先生の何時もの御言葉の武道チユウー精神で下腹に力を入れてやると、つめたいの何んかはどこかに飛んで行つて了ふ。

来客…船越先生、赤間先生

当番者…小野憲、水沼保、斎藤登

検印…須藤

2月5日 金 朝 45人、昼 45人、晩 45人

所感…今日は所感と云ふ所感は有りませんが、今日で炊事当番が終つたので、感激無量で書けません。以上

所感希望…此の天ぶらを須藤兄、茂木兄等のお力を借りて非常によく出来たせい、鐘がなるや否やすぐ食堂は一朽「杯？」で、寮の天ぶらをよくあじはつた事と思ふ。以上「天ぶらの材料は玉葱、牛蒡、サツマイモと思われる。」

来客…無シ

当番者…水沼保、相沢知二、斎藤登

検印…須藤

2月6日 日〔土〕 朝 45人、昼 45人、晩 20人

〔献立は記入されているが、所感、所感希望は無記入〕

当番者…水沼保、佐藤廣弥、相沢知二

検印…須藤

2月7日 日 朝 20人、昼 20人、晩 25人

所感…炊事三日間はたして独断にて自分は任務を全ふするを得るか否か。何の獲物も

ない出発に際し、自覚が無かつたからだ。来れ第二回の炊事よ、充分研究せん。

所感希望…昼食パンのクリームは須藤さんを始め柴田、小野両君の手製、実に美味、感謝にたへません。望わくんば昼食のパンも我等の炊事場で製したいものです。「クリームの材料は砂糖、牛乳、卵、小麦粉。」

来客…夕食、公主嶺移住者三名

当番者…佐藤廣弥、菅運五郎、相沢知二

検印…須藤

2月8日 月 朝40人、昼33人、晩44人

所感…入所以来始めてなので、何から仕事をすれば良いやらわからず、第一日目炊事はほんとに赤面の至りであつた。二日三日目となると少しは覚束無くも、茂木兄、長岡兄等に御指導を受けて無事に第一回目は終つた。第貳回よりは大いに研究せん。所感希望…特に献立及び料理に就いては所感無し。

来客…四名

当番者…佐藤廣弥、菅運五郎、佐藤賢三

検印…須藤

2月9日 火 朝43人、昼42人、晩43人

来客…朝夜、高橋一笑会長□〔赤色で〕深瀬春米〔赤色はここまで〕

当番者…菅運五郎、佐藤賢三、三浦又雄

検印…須藤

2月10日 水 朝44人、昼42人、晩43人

所感…今日迄三日間の炊事で苦通〔痛〕を感じた事は朝米とぎが一番感じた。でも三日の間でなんだかおもしろい様になつて十日もつゞけ日間をやつて見たい様であるが、新入生の物がなれられないからと思ふ。残念ながらもやむを得ない。

所感希望…朝はメツコ飯である。長岡君は水が少ないからだといったから、米一升に対して水一升二合で、九升であれば一斗八合で普通の飯が出る。僕二年間のけいけんによればそうである。

来客…朝高橋一笑会長、深瀬春米



当番者…佐藤賢三、三浦又雄、本田総一  
 検印…須藤

2月11日 木 朝42人、昼43人、晚43人

所感…所感と思ふ様な事ありませんが、只だ朝の米とぎが三日間の内一番感じた。  
 以上

所感希望…長岡君、須藤君の指導のもとに特に三日間の料理はうまく上手に料理をなした。

来客…二人（新入生）

当番者…三浦又男、本田総一、庄司定次郎

検印…須藤

2月12日 金 朝43人、昼43人、晚43人

所感…小生モ炊事ヲヤルノガ今般ガ始メテデアツタ。先ヅ長岡兄ヨリ大根切り味噌スリカラ手ヲ取ツテ教ヘラル。味噌スリハ最初手ノ回転ナラズシテ閉口ダツタ。二日間ノ朝零下ニ下ツタ時ノ米トギ…、実ニ両手ハ自分ノ手トモ思ワレナカツタ。併シ吾等同胞四十余人ノ賄ヲヤルノダト思フ時、ソナ事ヲ考エル暇ガナカツタ。

所感希望…御飯炊ニ於テハ経験多キ長岡君茂木君ノ下ニヤツタノデ失敗ナク実ニ好成績裡ニ終エタ。本日ノ汁ハ自分ノ水加減少シク多カツタ故カ、醤油九合ノ所ヲ二回モ追加シテ口ク適宜与ス。自分ハ三日間ノ炊事ニ於テ得ル所ガ実ニ多カツタ。無経験ノ自分…。以上〔夕食の振葱汁の材料は、葱とジャガイモ、タラ。〕

来客…伊藤君（一月）

当番者…本田総一、庄司定次郎、黒田五郎

検印…須藤

2月13日 土 朝40人、昼40人、晚37人

所感…炊事当番第一回は本日ヲモツテ無事に終りました。此れ長岡君の实地指導の賜であります。まだまだ我には研究しなければならぬのだ。次回之当番には一増美味に料理する事に努めます。

所感希望…汁の献立の大根の切方等に付ては解りました。三四百匁の馬鈴薯で四十余

人に平等に分配し得る様に、切形等その他、三日間の炊事に依り得る事、大でした。希望としては感ずる事なかりき。

当番者…斎藤寿一、庄司定治郎、黒田五郎

検印…須藤

2月14日 日 朝37人、昼33人、晩36人

所感…自分には十二日より本所に入所してから始ての炊事当番に当り、炊事をする。朝迄非常に心配して居つたが、多年の間経験をつまれて居る茂木君並に長岡君の熱心なる御指導のもとに、一回の不出来もなく終つた事は何より嬉しく、又両君に色々何から何迄親切に教へて下さつた事は、実に私には何んと云ふた良いか知れません。

所感希望…今日迄で三日間炊事をした内で一番に困つた事は、朝零下何度と云ふ寒き朝に米とき、又薪に火がつかかなかつた事でした。三日目には茂木君が帰宅したので、長岡君が来て指導下さつたので一度も不出来がなかつた事は自分一人嬉しい事で成「無」く幾十人の人もおいしく食べた事と思ふ。炊事は実に面白い。一週間やつて見たい感がする。

来客…依る、東置賜中郡村青年団長

当番者…黒田五郎、斎藤寿一、大沼清八

検印…〔押しでない〕

2月15日 月 朝43人、昼43人、晩44人

所感…蛇でさえ冬眠する今時、雲はなきとも人間ばなれせし私も又平々凡々として感ずる所なし。

来客…茂木君帰寮

当番者…斎藤寿一、大沼清八、高橋勇士

検印…須藤

2月16日 火 朝45人、昼44人、晩45人

所感…僕は今日にて三日間の炊事当番も終りを告げました。今朝は何時もよりは暖に恵まれたかの様に思ひます。僕等当番は茂木君や長岡君達の親切なる御指導によりどうやら皆様の前に出す事の出来た事は、何によりも気持の良く感じました。兎に角僕

は生れて初めての事故、多少心配も有りました。だが楽しくもありました。

来客…所長先生、高橋一笑会長、外、三人

当番者…大沼清八、高橋勇士、清野本

検印…須藤

2月17日 水 朝 45人、昼 46人、晩 44人

所感…何時かな何時かなと首を長くして待つて居った炊事当番も□□りなくやつて来て夢の□に三日間も無事に了えて、ほっと一安堵の胸を撫でることが出来たのは嬉しく、之も皆先生さん達の良ろしき御鞭撻の外ならず、ほんとうに有難いのだ。厚く御礼申上ます。一寸思ひ起した事を述べて見ませう。私らは内に居る時には随分と台所に向つて、今日はあゝだこうだと叱言めいた事は、今考えて見ると多々ありました。今となつては恥かしい位です。何人かの生命源泉を重大なる責任を以つて行ふ仕事です。自分の分担を果す其の為に……。

所感希望…何せ山だしの私に初めて責任重い多数の皆々様の食事を膳部するのですから、万遺憾なきを期する覚悟で勉めました。余り気の急いだ為に冷い御飯を差上げたのは申訳ありません。尚多量焚くものですから時々過軟たりして済みませんでした。今後は宜敷勉めます。（炊事当番諸君も有難う御座いました。）

来客…舟越先生、安齊先生

当番者…高橋勇士、清野本、星與兵衛

検印…須藤

2月18日 木 朝 44人、昼 44人、晩 45人

所感…自分は入所以来炊事当番を行つた事は無かつた。炊事をする朝迄は非常に心配をして居つた所、茂木長岡両君の厚き御同情を受け奉りまして、一回も不出来も無く終つた事は非常に喜んで居ります。僕は両君より一切万事親切に教えて下さつた事は真心から御礼を申し上げます。

所感希望…我等当番の時に茂木長岡両君のお力を借りて非常によく出来たためか、鐘の鳴るや否や、生徒は食堂に早く集つて先生の御言葉をまつて居つた様であつた。

当番者…清野本、星與平、犬飼訪吉

検印…須藤

2月19日 金 朝44人、昼44人、晩44人

所感：三日間やった炊事当番を回顧して見れば、何も知らなかった僕は炊事場に行つた時に何をやってよいかわからなかつたが、茂木君長岡君方の指導によつて無事三日間過した事は何よりであつた。

所感希望：御飯をたくのも汁を煮るのも知らなかつた僕は一番心配なのは御飯たくでした。前の人が居つてやつて行れる内はそんなでないが自分になると本当に気がもめます。だが茂木君長岡君方の親切な指導によりまして皆様の前に出す事の出来たのは楽しいような気がした。

来客：佐藤先生

当番者：星與衛、犬飼訪吉、西田貞典

検印：須藤

2月20日 土 朝44人、昼45人、晩25人

所感：炊事に付いて何も知らなかつた私が当番に当り、色々と教えて下さつた。茂木長岡両君に厚く御礼申し上げます。そして炊事をやつて初めて自治寮生活の真味が判つた様な気がします。

所感希望：料理及び献立に就いての所感及び希望は何も有りません。

来客：高橋先生（3）（要）、赤間先生（昼）

当番者：犬飼訪吉、西田貞典、金沢孫治

検印：須藤

2月21日 日 朝25人、昼25人、晩25人

所感：朝飯は余り早く盛つて済まなかつた。

所感希望：晩飯は少しく軟く出来で済まなかつた。晩の魚汁は少しく砂糖入れれば甘味ありて味よい。「魚汁の材料名に「魚」とあり、種類名なし。」

来客：パン高橋先生二ツ（要）

当番者：堀川清一、星智夫、西田貞典

検印：須藤

2月22日 月 朝44人、昼45人、晩47人

所感…始めて炊事をやる者に一番困難な事は何と云つてもご飯の水量を見る事です。茂木君の御指導なくんばとても駄目の様です。家庭的炊事と違つた大量炊事は始めは全く驚くだけです。

所感希望…御飯入のバケツ二個でたりません。もう一個設けて戴きたく思ひます。「以下赤色」近い内備へつけたいと思ふ。「以上赤色」

来客…西垣先生③、赤間先生①

当番者…金澤孫治、堀川清一、星智夫

検印…須藤

2月23日 火 朝44人、昼 人、晩44人

所感…炊事は初でありましたので、思ふ様に働けませんでした。茂木さんや長岡さんに新「親」切に教へていたゞいて、どうやら三日を無事につとめる事が出来ました。其して一食ごとに自分達の造くつた飯汁を皆んなといたゞきますといて、食べる時、得意といほうか、何んといほが、とても愉快な感じが致します。

所感希望…醤油をはかる時にたるよりすぐに少なきものに□□のは、こぼれて悪い様です。何か便利な物を買つて戴きたいものです。

来客…高橋先生二ツ、五十嵐先生一ツ

当番者…金澤嘉代治、遠藤忠雄、堀川清一

検印…須藤

2月24日 水 朝46人、昼46人、晩46人

所感…夜食ノライスカレーハ茂木君ノ腕ノ冴、実ニスバラシイモノデシタ。大掃除後ノスキ腹ニタラフクシタ。諸君ハサゾカシ大満悦デアツタ事ト思ヒマス。

所感希望…昼一食パンノバターガ少シスクナイ様ナ氣ガシマス。ライスカレーニスプー  
ンガアツタラト思ヒマス。

来客…高橋猪一先生①、安齊先生①、船越先生③、佐竹兄①

当番者…遠藤忠雄、金沢孫治、星智夫

検印…須藤

2月25日 木 朝44人、昼100人、晩50人

所感…自分が炊事当番に一番遅く廻つてきました。其の前に早く炊事を当ててくれれば良いと思つて居りました。当番をやつて見ると仲々自分が感じた長岡君と茂木君との親切の指導の下に四日間致しました。

所感希望…無事に通過した炊事の調理は、全く茂木君長岡君両君の下に、非常に美味しい料理をいただきました。

来客…高橋一笑会長、三食分

当番者…遠藤忠雄、古瀬吉蔵、金澤孫治

検印…須藤

2月26日 金 朝54人、昼45人、晩44人

所感…自分に此度と二回だが、何時も茂木長岡両君の親切な指導を感謝致します。今夕食の汁の盛方が悪かつた為に不幸「公」平に盛り、誠に濟なかつた。これも自分の至らぬ所と反省致しました。今后は注意致してこの二度の失敗をくり返さぬ様努力致します。失敗は成功の本。

所感希望…今度の汁の振葱汁の汁の実が、もう少し多くても良と思つた。玉葱で無く葱であつたらと思つたが自分の至なぬ事、反省致しました。「以下赤色」献立は葱と馬鈴薯となつて居る。「以上赤色」

来客…朝食先輩拾名、昼先生一の（農）

当番者…金沢嘉代治、古瀬吉蔵、遠藤忠雄

検印…須藤

二月二十七日 土 朝44人、昼44人、晩44人

所感…僕は炊事当番は二回ですが、所感はない。然し今日の朝の飯たきには長岡君を初めとして我等炊事人一同は頭を苦したが、高橋先生並に生徒一同に対しても申訳ありません。今後の当番には立派な飯をだします。

所感希望…料理及び献立ニ就イテ所感希望ハアリマセン。

検印…須藤

二月二十八日 日 朝41人、昼40人、晩100人

所感…自分は炊事当番に一番遅く廻って来ました。扱て炊事当番に指名された夜は非常に心配したが、永年経験の積んで居る茂木、長岡両君の親切なる御指導の下に、又今日は移住者に赤飯を御馳走をなし多人数の料理をしたのも、茂木長岡両君の御指導の下にだと思ひます。

所感希望…料理献立ニ就イテノ所感希望等ハアリマセン。

来客…県知事、平康移住者

当番者…金澤嘉代治、森光男、小野功、以上三名

検印…須藤

2月29日 月 朝 45人、昼 49人、晩 45人

所感…自分は廿八日の夜るに少食過したしたか、今朝の炊事に出られなかつた事を外二名の当番に申訳なく思いました。そうして朝の水仕事は冷たかつたと云て居りましたが、而し当番は任務を良く果された事を深く自分も感しました。そして夜は自分も外二人も一生懸命に働きましたが、まだ経験の不足の為か御食〔飯〕の水かげんは良くなかつた事を後に思ひました。

所感希望…パンにジャムを不足の為にあまり楽しく食はなかつた人も見える様であつたので、もう少し付けて下さつたと思ます。夜るの就床の後に火を取る。灰通は満足の物は一ヶで不足を感じて居ります。

来客…西垣先生③、赤間先生1

当番者…森光男、小野功、菅野章

検印…須藤

3月1日 火 朝 55人、昼 人、晩 人

所感…僕は二回目の炊事の番に廻つて来ます。僕が書く前に反省し見るに、僕は初めての炊事時よも勝手も知る様になり、炊事も一段々に面白い味がある。今日炊事に当つて居る二人の方々は一生涯懸命に書かれ下さりますので予定時間前までは早く□□のへる。

所感希望…毎日朝晩に頂て居る沢庵漬、一方主義ではあまりにも皆様には好み居らぬ事と思ふ。たまには変へて見たらどうでう。

来客…五十嵐晴峯先生昼食

当番者…小野功、管野章、阿部盛隆

検印…須藤

三月二日 水 朝 人、昼43人、晩43人

所感…船越先生に打こまれる武道の精神で炊事をやったら実にお面白く愉快でたまらない。

所感希望…毎日おいしくて何も希望などはありはしません。

来客…安斉先生、船越先生

当番者…阿部森雄、菅野章、佐藤建蔵

検印…須藤

三月三日 木 朝43人、昼43人、晩46人

所感…炊事当番は実にお面白く愉快でありました。

所感希望…料理献立に就いての所感希望などはありません。「以下赤色」馬鈴薯パン良好なりき。砂糖少しく多すぎた、百匁にて可（二百匁ノモノ）塩を多くしてはと思つた、八〇匁位（四〇匁ノモノ）「以上赤色」

来客…〔赤色で〕（所長、船越）、齋藤先生、高橋先生へ一食

当番者…佐藤賢三、阿部盛雄、安食喜一

検印…須藤

[3] 月 [4] 日 [金] 朝45人、昼45人、晩47人

所感…炊事は当番の中でもこんきの修行であると思ふ。僕は実行した気でをるが、皆んなにはあんな物と見る者もあるだう。同じ様なことを書いてをるが私は見られても当番としての分担を迫行する気だ。

所感希望…此一日は□めご飯である。すまない第三日目だ。昼は良い飯であつたが、夜はテンプレートである。あまりおそくなつたので揚げる物も半分揚げた。皆んなにすまんと思ふておる。これからはこんな事ない様修行致します。

来客…大高根村寺崎大工様、道場建設の件につき来所

当番者…佐藤、安食、柴田

検印…須藤



3月5日 土 朝43人、昼49人、晩32人

所感…私ハ一番感ジタ事ハ、炊事ノヤリ方ガホントニワカラナイ。私ハ友部ノ学校デヤツテキタ様ニ料理ノカードヲ是非製ツテ戴キタイ。ソシテ大対ノ仕事ハ先生其他ノ諸兄ニ指導ヲ仰グト共ニ、其他ノ料理ノ仕方ハ大対ニ於テ自治的ニ自発的ニ働カシテ戴キタイ。コウシタ経験ニヨツテ各自ノ体験ハ如何ナル場所ニ於テモ応用出来得ルデハナイカト痛切ニ感ジマシタ。ソシテ一日乃至終了後ニ於ケル簡單ナル注意ヲ保レテ戴キタイ。

来客…赤間先生、高橋先生、萩野来客二名、寺崎氏

当番者…川合恒五郎、柴田敏夫、長谷部

検印…須藤

3月6日 日 朝26人、昼20人、晩30人

所感…僕は二度目の炊事で、この前よりはいくらか勝手がわかるといふ具合で気持よく働くことが出来ました。しかし炊事といふ事はやったことではないので、お汁のネギ、ミソ、大根等の中、どれを早く入れたらよいか分らないで、二、三回もすれば大ていわかるでせう。知つてしまはなければならぬ。

所感希望…今晚の飯は少しやはらかであつた。しかし少し焼ついて居りました。この次からはもつと上手にするやうに心掛るやうに致します。汁の具合なかなかうまく行かなかつた。魚汁の為に殊更まづかつた。大いに益する所あり。ヒシヤク一個しかなくかつた。もう一個そなへていたゞいたら都合よいと思ひます。「魚汁の魚種は「かれ」。」

来客…萩野来客二名

当番者…柴田敏夫、長谷部、堀川

検印…須藤

3月7日 月 朝45人、昼45人、晩45人

所感…僕、足が痛い為に相沢君に代理をして貰つたので本日の当番の事はわからなかつた。自分としては本日一日であるから炊事をしたいかつたが、足の為にする事が出来なかつた。

所感希望…「赤色」沢庵ノメ方ト本数ヲ記入スル事。

来客：萩野より来客二名朝食

当番者：長谷部、堀川、相田

検印：須藤

三月八日 火 朝45人、昼47人、晚45人

所感：御飯が思つたよりよく出来たので非常に愉快だつた。

来客：五十嵐晴峯先生、昼飯

当番者：相田、三浦、堀川

検印：須藤

三月九日 水 朝三十一人、昼35人、晚37

所感：自分が今日の朝御飯が一人前たりないと三浦君にいはれた時、実に驚たが、一人前余りました。ほんとうにうれしかつた。

所感希望：今日まで三日間炊事致し、内御飯の水を見る事が一番大切である事よく感じました。

来客：安斉先生、船越先生

当番者：相田栄助、三浦又男、奥山信儀

検印：須藤

三月十日 木 朝47人、昼47人、晚47人

来客：ナシ

当番者：三浦、奥山、佐藤

検印：須藤

三月十一日 金 朝47人、昼47人、晚48人

所感：炊事当番にあたりましたから朝五時の点呼終へると直ぐ仕事に着手した関係上、割合に早く出来ました。けれども最後に沢庵漬がなくなつてゐましたから、一寸困つてあつた。直ぐ須藤君にきいたら三重県鈴鹿郡森谷壮吾様より頂戴したのを食べることにしようといふことでした。御蔭で三重県の沢庵漬を食べることが出来た。非常に美味しかつた。

所感希望…今日の料理は可成順調に然も美味しく出来、本当に愉快だった。殊に私の良心は満足した。今後一層経済方面を考慮し努力実践躬行いたす所存です（終り）。

来客…須藤久治（須藤君の兄さん）

当番者…奥山信義、佐藤廣弥、相澤知二

検印…須藤

3月12日 土 朝46人、昼43人、晚46人

所感…僕は第二回目ノ炊事よりは大いに研究しやうと思て全力ヲ尽してやつて見たが自分の思て居つた程も出来ず、三日間終了しまつ（し）たが、第一回目よりは少しは得る所があつた。又これからも大いに自重して研究致す覚悟である。

所感希望…ナシ

来客…須藤君ノ兄さん、高橋先生③、講習所ノ先輩二人

当番者…佐藤廣弥、相澤知二君、舟山正悦君

検印…須藤

3月13日 日 朝43人、昼36人、晚41人

所感…炊事第二回と拝名〔命〕せしより三日、諸先輩の指導に依り前回よりは幾分多く体験を得た。まづ御飯ならあの鍋、あの場、あの位の量ならどうか出来る様になつた。又汁の諸物を煮る順序等をよほど考へたがまだ充分でなかつた。最後に残念だつたのは野菜の切り方を修了出来ぬ事です。

所感希望…一、汁の煮る順序。一、野菜一般の切る型。以上一通全部の人に御指導を願ひます。以上

来客…朝、萩野三名、他四名。昼、〃、〃。夕、〃、〃、他四名。

当番者…舟山正悦、清野本、相沢知二

検印…須藤

3月14日 月 朝51人、昼44人、晚43人

所感…今日こそ四十五名と云ふ大数の人の生命を頂つておる所の非常に責任有る任務で有つた。たゞ無意識に切り細ざいて煮るだけが炊事当番仕事でなく、其の一つ一つの料理の方法に依りておいしくもなり、又まづくもなるので有るから、なんとなく御

面白くなると同事に少しおそろしい様な感にうたれた。そこでベストを尽してよく研究してやった。

自発的に研究してやったなら、その暁には非常に得る所が出て来るので有ると思ふけれど、仲々思ふ様にいかなかった。殊に三日間と云ふ短時間の炊事で有るから、殊更に自重してやらなければならんと感じさせられた。

「所感」が二つの欄にわたって書かれている。「所感希望」を書いた紙が糊付けしてある」

所感希望…僕は今日までこれぞ炊事と云ふ炊事はした事はなく、前回の炊事には自治寮の初めての炊事で物の置場所もわからん、切り方も知らん、たゞ恐怖心の為めに充分に炊事と云ふ任務は出来ず、今回の炊事で初めて米の水加減がわかった。又物の煮方の順序等も初めて経験する事が出来て、更にこんどはその品物に含有する料分量等も知りたいと思ふ。又炊事当番を一週間位して見たいと思ふ。そうすれば非常に得る所が大になるで有らう。川合君と云ふ経験者が加わったので非常によかつた。

来客…朝萩野三名、外五名、昼萩野三名、夕

当番者…舟山正悦、清野本、本田総一

検印…須藤

3月15日 朝43人、昼36人、晩6人

所感…（全体を×で消してある）今日ハ昨日来ノ費〔疲〕労ニ起床ハ太鼓ノ音ヲ聞キテカラダツタノデ、炊事ニカカツタノハ五時半頃ダツタ。日ガ伸ビタ故力随分明クナツテオツテ、大変遅レタ様ナ感じガシテ気が揉メタ。併シ朝ノ礼拝終ルト共ニ恰度ヨク出来タノデ安心シタ。

所感希望…（全体を×で消してある）今日ノ山寺行キノ川原デノ飯ゴ〔飯盒？〕製産、赤間先生指揮ノ下ニ各自分担ニツキ野外炊事ヲ為ス。吾等

〔19日の欄に記入すべきを間違えて15日の欄に記入したものとと思われる。〕

〔16日と17日は記入なし。18日の献立欄に赤色で「十六日より十八日朝まで馬鈴薯一匁」とある。事情は不明である。〕

3月18日 金 朝 人、昼四十二人、晩42人

〔所感欄等無記入〕

三月十九日 土 朝四十三人、昼四十二人、晚三十人

所感…今日ハ昨日来ノ疲労ニ起床ハ太鼓ノ鳴ルノモ知ラズニ床ニオツタ。随ツテ炊事ニカカツタノハ五時半ナノデ、日ガ伸ビタ故カ随分明クナツテオツタノデ、大變遅レタ様ナ感ジガシテ氣ガ揉メタ。併シ朝ノ礼拝終ルト共ニ出来タノデ安心シタ。

所感希望…今日ノ山寺行キノ川原デノ飯ゴ製産〔赤字で「盒炊」と訂正〕、赤間先生指揮ノ下ニ各自分担ニツキテ野外炊事ヲ為ス。吾等ニハ珍シイ機会ダツタ。出来上リノ御飯モ格別オイシカツタ。併シ未ダ最初ノ経験ノ事、コレニハポロポロノモ出来タノハ閉口ダツタ。今度ハ今日ノ体験ニヨリ立派ナ飯盒炊スル事ヲ得ラレ様ト確信ガモタレタ。

来客…高橋先生

当番者…本田総一、管野栗太郎、西山進

検印…須藤

3月20日 朝式拾参人、昼21人、晚25人

所感…朝炊事の時お汁を煮る量を須藤さんに御聞きました通りに致さず、多量に汁を造り又汁を多量に余し、誠に申訳ありません。これからは大いに自重し足らない所は一生懸命になつて補ふつもりです。

当番者…管野栗太郎、小野憲、佐藤廣弥

検印…須藤

3月21日 月 朝21人、昼21人、晚26人

所感…今日の炊事は又再び冬来りの感有りて少々困苦を感じた。朝六時の起床なる故幾分其労苦をねぎらう。然し同生諸君等の熱心なる動作によつて着々として準備が運ぶのが氣持が善かつた。其の上川井君の指導にあづかり嬉しかつた。

所感希望…朝のごはんの少々柔かなるにかゝわらず、何事も諸君等の不平の浮ばかなつた事は全く我々自治講習所で初めて見る現象であらう。

〔以下赤色で〕講習所にのみ又初めて見らるべきもでない。吾人の社会生活の本体だ。本来がそうあるべきだ。我々は其の理想に向ひ、美化の大任に邁進せねばならぬ。〔赤

色はここまで」

当番者…佐藤廣弥、森光男、西山進

検印…須藤

3月22日 火 朝44人、昼44人、晩45人

所感希望…ナシ

来客…一人

当番者…森君、金澤君、佐藤

検印…須藤

3月23日 水 朝42人、昼42人、晩45人

所感…三回目の当番も今夜にて終りである。当番の行ふ事は少くも知る事が出来た。して思ふに最初の当番に比れば幼時と青年時を観るが如き事を微かに自確させる事が出来た。而し何事も青春の時代にて、他力を貸又自発的に確固たる研究する事である事を知して、今夜の炊事の時程喜ばしき心持のした事がなかつた。諸兄等の充分なる労働を終し空腹にて此れ迄になかつた御飯を戴だきました。あの時元気に満ち満ち力強い顔色を見て自らの気持は何んとも云はれぬ観があつた。何事も身心にかみわけて感かへる時、何んとなく喜ばしいものであるを知つた。

所感希望…料理の所感、何んと云つても今後の炊事であつた。今まで細ごましき事、又家に居つた事分は炊事は家内がするものゝ如く思つて居つた。して所に入所した時、生徒が炊事をやると聞き驚いた者であつた。其れはたんに恐怖心である事を知る。今夜の炊事、飯の非常なる出来に自分も喜び諸兄等も喜んで食たのも、皆須藤君の指導良しきに依るものと信ずる。今夜はすばらしい炊事であつた。

来客…朝一人

当番者…森光男、金澤孫治、大沼清八

検印…須藤

「献立の昼の欄に以下のように赤色で記入あり」カード式献立表が出来ず徹底せる指導が出来得なのは遺憾だ。其の内折を見て切り方とか野菜の煮る準「順」序に就いて話したいと思ふので居る。

三月二十四日 木 朝四五人、昼四五人、晚四五人

所感…呼鳴〔嗚呼〕三日間炊事当番は実に短いものだ。今日で自分の任務を果して何んもなく心持がのんびりする様になった。当番二回目にて入所以来諸兄等の御指導に依つて満足なる研究心を持つ様になった。又当番中リーダーの人が見えないので我々三人は心合致して失敗したらとの意気込んで愉快に過しました。

所感希望…我々無智な経験のなき者に有りて最も良い方法教えてくれましたと思つて居ります。米の数量も共に水を増加〔ママ〕する簡単なる川合君の工夫に驚きました。之れを我々は永久に使用し又良き御飯も出来る様です。之れは永久に必要な通と思ます。

来客…所長先生

当番者…大沼清八、金澤孫治、庄司定次郎

検印…須藤

3月25日 金 朝46人、昼46人、晚46人

所感…僕は三日の炊事受持も夢の様に過ぎてしまつた。この意義在る三日の中にも何んらか将来の為め参考になる事も多かつたと思はれます。吾等自治寮生活の同志四十余名諸兄の生命の第一線に立つ僕等炊事係りは、最も重大なる責任のある事を知つた。今年も陽気は地上にみなきつて居る。朝の寒風を突く小鳥の群は、何処となく大空の彼方へ消へてしまふのである。僕は炊事場の窓より青春たる事を深く教へられたかの様に、小鳥の行方をみつめたが、炊事の一端を書く。

来客…無シ

当番者…大沼清八、庄司定次郎、黒田五郎

検印…須藤

3月26日 土 朝46人、昼47人、晚43人

所感…二回目の当番も今日にも過ぎ去るのである。呼鳴〔嗚呼〕大事業の過去を反省するに考させられる事多事なり。此の度の炊事は勝手が解かり気持よく働く事が出来、何となく愉快でした。然し諸君等は不満の点もあつた事でせう。

所感希望…味噌は三界（海）の珍味である。曰く、大豆は畑より、米は田より、塩は

海より。我等は農村の味の元なり。愛用専一。

来客…高橋先生

当番者…庄司定治郎、黒田五郎、小野功

検印…須藤

3月27日 日 朝39人、昼30人、晩36人

来客…鈴木伍長

当番者…黒田五郎、小野功、古川森弥

検印…須藤

3月28日 月 朝43人、昼43人、晩43人

所感…私しの三回目の炊事当番も此処に終りを告げる事となりました。第一回目と反省比較して見るに大差ある今回の炊事に於ては、炊事の順序も大半にわかる様になりまして、炊事当番も面白さを覚え感ずる。飯の炊き方も良く出来る程になりました。時間早やびく事になり、私し炊事当番人としての御汁のアンバイ見る時のお汁が、おいしく喰べられる。このアンバイ見る事は当番人の皆なやる事と思はれます。うまく飯やお汁の出来た時は皆なを喜し時でせう。終り

来客…赤間教官

当番者…小野功、古川森弥、佐藤良治

検印…須藤

3月29日 火 朝43人、昼43人、晩43人

所感…自分は今度二回目の当番なる故、全努力を以て働き又研究し様と思ひました。果してどうだか分らないが、自分としてやつた積りだ。調理の方も大切だが、清潔も第一と思ひ掃除をし清潔にした。所感希望…今夕飯のコロッケ、一人前わずか五錢にてかゝる美味なるもの出来る…：に驚く。吾々は研究心を以て色々調理せねばならぬと思ふ。滋養分あること、美味なる許に。

当番者…古川森弥、佐藤良治、小野憲

検印…須藤



3月30日 水 朝43人、昼43人、晩55人

所感…僕は初めての炊事であります。何から何を行なふと云ふ事も分らない故に唯だ  
 気を苦にして居りました。けれども出来るだけやらうと思つて居ります。他の人々の  
 親切に深く感じて居ります。

来客…平康移住者拾名

当番者…佐藤良次、小野憲、佐藤賢三

検印…須藤

3月31日 木 朝43人、昼43人、晩43人

所感…二回目の炊事を終つた。第一回よりも大分なれて居つたのです。いと運び得  
 た事を嬉こんでゐる。しかし自分はより以上良き結果を得んがため、より科学的によ  
 り合理的により研究的に炊事、否營養化学を研究したいとつくづく感じさせられた。  
 所感希望…献立に里芋とあつたが馬鈴薯を用ひた〔夕食の汁物である〕。之は安価でし  
 かも營養価の方から言つても適当なものと思ふ。白菜、かんらん、大根等いつでもに  
 てだけ食する。しかし時にはつけたり或は生食する事も必要かと考へます。もう一つ、  
 すべて炊事室の物品は清潔にしていたゞきたい事です。そして大切にとりあつかつて  
 いたゞきたい事です。かうした小さい事を完全に遂行する、即ち小物をも愛しむとい  
 ふ事が惟神の第二項等にあてはまる物考へます。終り

4月1日 月 朝42人、昼43人、晩45人

所感…今迄何廻か炊事をやつたが、今年の第三回目では□□〔風引?〕程して充分や  
 れなかつたのが残念である。まだまだ充分ならぬ者は、三日もしておれは何んとなく  
 お面白味といをふか、きようみがでてくる。俺ばかりでないと思ふが。

所感希望…御飯は火を入れてから三十余、火を引いてから一時間一寸□ける位の時間  
 を要する。やはり沢庵ばかりでは時に生食も悪くはないと思ふ。昨日より実行すべし。

来客…無し

当番者…佐藤（賢三）、佐藤正俊、須貝君

検印…須藤

4月2日 土 朝<sup>5</sup>人、昼<sup>4</sup>人、晩<sup>3</sup>人

所感…何しろ初めての炊事であるから勝手が分からなくて充分やれなかったのが残念である。なれものか手を切つてしまった。

所感希望…今後薯パンの時は今少し分量多くして与へる様にしてもらいたい。

来客…高橋先生

当番者…佐藤（正）、須貝君、本田君

検印…須藤

4月3日 日 朝<sup>3</sup>人、昼<sup>2</sup>人、晩<sup>3</sup>人

所感…炊事と云ふ物は女しかいらぬ物と今迄では思ひ居りしに、自分は仕て見ると面白味もあり、唯初会〔回〕なる故充分なる事は出来なかつた。

所感希望…ナシ

来客…高橋先生

当番者…佐藤條助、菅野栗太郎、古川健造

検印…須藤

4月4日 月 朝<sup>2</sup>人、昼<sup>4</sup>人、晩<sup>5</sup>人

所感希望…時には御飯や御汁が冷める様な場合もあるが、出来るだけ温たかい中に皆が食べる事が出来る様にしたと思ふ。豆腐の様なのはあまり煮ると旨くなく成るから食器に分配する。丁度前頃に釜に入れるとよいと思ふ。沢庵もおいしいですが、時には新鮮な青菜とか何か変化ある方がよいと思ふ。ジャガ薯パンはもう少しおいしく食べたいがあるやうに研究したい。

来客…夕、萩野村移住者一名

当番者…菅野君、古川君、須貝

検印…須藤

4月5日 火 朝<sup>5</sup>人、昼<sup>4</sup>人、晩<sup>4</sup>人

所感…団体の炊事は初めてなので愉快と心配とが入り乱れて、さながら修羅の巷でありました。

所感希望…私は万〔満〕足です。先生に、もう少し早く食堂に来て戴きたいものです。

みなさんにきのどくですから。

来客…朝萩野移住者一名

当番者…長谷部君、須貝君、古川（建）

検印…須藤

4月6日 水 朝<sup>4</sup>人、昼<sup>4</sup>人、晩<sup>4</sup>人

所感…今回の炊事は割合に良くいったと思ふ。朝の飯のときはやわらかではないかと思つてあつたが、後に見ると割合でなかつた。又麦を多く入たので水の入方がわからなかつた。「米五升に麦三升五合である。」

来客…高橋先生（朝食）

当番者…金沢嘉代治、古瀬吉蔵、長谷部十右エ門

検印…須藤

四月七日 木 朝<sup>4</sup>人、昼<sup>4</sup>人、晩<sup>4</sup>人

所感…自分は入所以来第二回目の炊事当番になり第一回の時は満足に出来なかつたが今度こそはと思つて一生懸命に行つたが充分任務を果さなかつたのは残念であつた。

所感希望…飯炊や汁の方が満足に出来ましたと思ひましたが、今夜のさゝげ汁が少し美味しくなかつた。

来客…高橋榮一先生、西垣先生

当番者…管野章、古瀬吉蔵、金沢嘉代治

検印…須藤

4月8日 金 朝<sup>4</sup>人、昼<sup>4</sup>人、晩<sup>4</sup>人

所感…今日の朝は実に心配した。米の量をまちがゑて半分の米でした。然し川合君樋口君の為に立派な飯となつた。僕も安心致しました。

所感希望…昼になると多くの同胞は口々に薯パン薯パンと叫ぶ声は自治寮に一ぱい漲り、我等炊事一同は悲憤の涙にくれました。「以下赤色」けちな涙にくれる必要なし。今満洲に立つ勇士を思ひ、苦難と戦ひに終始せる同胞を思へば。「赤色はここまで」

来客…高橋栄一様朝食、十六期卒業生御一人

当番者…管野章、舟山正悦、古瀬吉蔵

検印…須藤

四月九日 土 朝47人、昼47人、晚35人

所感…僕は三回目の炊事当番、早くも今日は炊事軍曹に追進致し全責任をもつて料理に従事致しました。何事も人にたよらず自己自身にて研究する必要を少なからず感じ、亦自己が今日一日の炊事を重分〔十分〕において致す所に数十名を心から喜ばし、愉快に一日を送らせるべきを感事しました。

所感希望…数回の馬鈴薯ばん制〔製〕法の時には先生なる河井君ばかり作らないで、其の時の炊事当番にも行はせ研究させて下さる要〔よう〕致してほしいものです。

来客…高橋先生、高橋一笑会長

当番者…菅運五郎、舟山正悦、菅野章

検印…須藤

4月10日 日 朝37人、昼35人、晚37人

所感…炊事当番も次第に日月を重ねるに従つて何んだか心配事が少くなつて来たと同事〔時〕に自己の思ふがまゝになつて来た。そ〔の〕他の感想は前と同じで有ります。以上

所感希望…バケツ破損に付き二個位買つて下さい。タワシモ有りません。

来客…朝昼ナシ、夕食先輩一名

当番者…菅運五郎君、小野憲君、舟山正悦

検印…須藤

4月11日 月 朝45人、昼45人、晚47人

当番者…菅運五郎、小野憲、清野本

検印…須藤

4月12日 火 朝46人、昼45人、晚45人

所感…三回目の炊事、三日目を終る。春雨がしとしとと振りそゞぐ。もつと研究的にやりたい。たゞ天晴れの気分ですべての事を成しとげたい。

所感希望…各自の食器ハ部屋に持つて行つたならば、必ず自分の机の所に持ちかえつ

てもらひたい事です。さうでないと炊事の方で困りますから。

×

今晚つめたい飯汁をあげた事お詫び申し上げます。今後は常に温いで温い物をあげる様に致します。

来客…兵隊さん一人（朝）、五十嵐（晴）先生（昼）

当番者…小野、清野、三浦

検印…須藤

4月13日 水 朝45人、昼62人、晩44人

所感…朝のよびりんで目をさます。思えば三日目の炊事だ。もつくり起きて禊をして炊事場にとび込んだ。間も無く三浦安食両君も集まり、一心に成つて働つて来れ。朝は川合君、夜は茂木君の両君は一心に成つて教えてくれたので、炊事当番も完全に遂行した事、此の上無きよろこびであつた。

所感希望…各自の室に持つて行くのが、余りにハシは無くなつて居ります。炊事場より持つて行ないようにしていたゞきたい物です。炊事の方で困りますが、よろしく御願ひ致します。

来客…舟越先生

当番者…三浦、安食、清野本

検印…茂木

4月14日 木 朝51人、昼49人、晩50人

所感…三回目の炊事三日も終る。此の日は天気が良く気持の良き日であつた。それに料理が良く出来た為に皆んなに自分乍ら満足をあたへたと思ふ。

所感希望…皆んなに料理するについて、もうすこし丁寧に見ても見にくくない様に綺麗にして、色々汁味〔実〕を切るにも良く落ついて切つて下さい。

来客…高橋先生

当番者…三浦、水沼、安食

検印…須藤

四月十五日 金 朝49人、昼49人、晩50人

所感…晩の炊事でうまくないめしをたいて皆に失敬したと思ひます。しかし皆だまつて食べてくれたので助かりました。感謝致します。

来客…石井兄

当番者…水沼保、安食喜一、奥山正一

検印…須藤

四月十六日 土 朝 50 人、昼 49 人、晩 39 人

来客…高橋先生②

当番者…奥山正一、水沼保、柴田敏夫

検印…須藤

四月十七日 日 朝 38 人、昼 37 人、晩 40 人

所感…「其の物を知る」、御飯をたたくとき釜の性質により色々と加減をせねばならぬ。若し加減しなかつたならば美味い御飯は戴けない。加減し「す」るには其の物の性質を知らなければならぬ。農業をするにも他百事皆其の物を知つて始めて上手に出来ると思ふ。そしてそれは経験によつて知り得るのである。三日間の始めての炊事に特に感じた。(夕食の炊事よりお汁の釜を新しいのと取換へる)。新入者には懇切丁寧にの実行を私が実際にうけたのは気持良かった。

来客…高橋先生③

当番者…柴田敏夫、奥山正一、西田貞典

検印…須藤

4月18日 月 朝 50 人、昼 47 人、晩 52 人

所感…三度目の炊事、自治寮における最後の炊事当番である。その意味で私としては何時もの当番よりは一層出来る限り心をこめてやつたつもりであります。だが果してみんなの満足を得たであらうか？

夕食は身体の悪い人達にその身体にもかゝはらず、又寒い所をやつていたゞきまして、有り難く御礼申し上げます。(赤間先生の教練、射的場でやつた為)。

所感希望…私の炊事の知識はものになるかならんかの境目にあります。一人でとにかく炊事をする事が出来るやうにせねばならぬと思つて居ります。家に帰つても其の方

面に心をとめて来やうと思ひます。

炊事場のたなをきれいにしようと思つて居たのでした。夕食に来て見たら、きれいに掃除されて居ました。誰がして下さったかは知りませんが有り難く御礼申し上げます。

来客…高橋先生…二、所長先生

当番者…柴田敏夫、庄司定治郎、西田貞典

検印…須藤

4月19日 火 朝50人、昼51人、晩48人

所感…朝の御飯は大変固くなりましてこまりました。幸に熟知者茂木さん来て下され幸に米よりは軟かく本当の御飯は出来ました。其の瞬間（老いたる者に従へ）の言葉は一層身にしみました。

来客…高橋先生…朝昼夕、五十嵐先生…昼食

当番者…西田貞典、黒田五郎、庄司定次郎

検印…須藤

4月20日 水 朝48人、昼51人、晩50人

所感希望…するこ「しるこ」の砂糖が少い様でした。然し美味でした。

来客…高橋先生、船越先生

当番者…庄司定治郎、黒田五郎、武田元衛

検印…須藤

四月廿一日 木 朝50人、昼50人、晩50人

所感…自分は今夕迄で三回目又三日目の内で一日目に水の少し不足にて、朝夕共に不出来だったので皆さんに対しても申訳なかつた。其の後色々と経験の有る方に聞いて三日目は上出来だったので本当に嬉しかつた。

来客…高橋先生、三食

当番者…黒田五郎、犬飼訪吉、武田元衛

検印…須藤

4月22日 金 朝50人、昼50人、晩60人

「パンとバター、パンとジャム、薯パン等、簡単に記載されていることの多い昼食であるが、この日は「甘藷パン」として詳しい材料名、甘藷、ライ麦粉、大豆、赤砂糖、卵、塩、重曹が書かれている。」

所感…たべる事が忘れないが炊事当番と云ふ分担が忘れた位であつた。振返つて見るに皆さんが三回目もやつておるに自分は入所直後一回、前回と今回は気候の関係及び米の関係で水量の程度わからず思わしく行かず残念であつた。皆なに申訳なくイタク思つた。

所感希望…米「トギ」丁寧にやられる事を希望します。

来客…高橋先生（三食）、所長先生（夜）、安斉先生、五十嵐先生、船越先生（共に夜）

当番者…武田、犬養、西山

検印…須藤

4月23日 土 朝50人、昼46人、晩42人

所感…自分は今回で二度目の炊事当番だが、まだ自分一人のみで炊事するまでは行かない。しかし少なからず得る所あつた事を喜んで居ります。そして此の次からは自分一人でも行はれる様な気がします。

来客…菅君の父さん、他一人（指名不名〔明〕）

当番者…犬飼、西山、菅井

検印…須藤

4月24日 日 朝40人、昼39人、晩 人

所感…実に今日は忙しかつた。そして最後の日だ。そして同僚の手伝はうれしかつた。所感希望…誠におそれるが諸先生方の食事時のもつと速く集られる事希望致します。異に農場等はそれ以上に空腹の切迫を感ずる事でせうから。

来客…川井君の兄上こらる。

当番者…佐藤正俊、菅井、西山進

検印…〔なし〕

四月廿五日 月 朝十一人、昼8人、晩 人



所感…単独の炊事人で大変多忙でありました。而し須藤先生、樋口さん、大江君等のお手伝ひで大変早く出来ました。以上  
所感希望…此迄に炊事当番やりましたが、御飯たき方は全然無能なる私には少々固く  
出来ました。

来客…石山先生夕、日本国民高等学校の高橋先生朝昼夕  
当番者…水沼、金澤（二人）、西田、遠藤、須貝

四月廿六日 火 朝<sub>10</sub>人、昼<sub>7</sub>人、晩<sub>1</sub>人

所感…なし

所感希望…なし

来客…朝昼夜高橋一笑会長、高橋先生

当番者…西田貞典、阿部美雄、大江卓見、遠藤忠雄

四月廿七日 水 朝<sub>8</sub>人、昼<sub>6</sub>人、晩<sub>6</sub>人

所感…なし

所感希望…なし

来客…高橋先生…朝昼夕

当番者…遠藤忠雄、阿部美雄、大江卓見、西田貞典

四月廿八日 木 朝<sub>6</sub>人、昼<sub>6</sub>人、晩<sub>13</sub>人

所感…なし

所感希望…なし

来客…高橋先生

当番者…遠藤君、阿部君、大江君、西田

四月廿九日 金 朝<sub>18</sub>人、昼<sub>1</sub>人、晩<sub>1</sub>人

所感…なし

所感希望…なし

来客…朝高橋先生

当番者…古瀬吉蔵、阿部君、大江君、西田貞典

四月30日 土 朝 7人、昼 10人、晩 7人

所感…なし

所感希望…なし

来客…朝高橋先鋭、昼江波□□院より三名、所長、高橋先生方、晩高橋先生

当番者…阿部美雄、大江卓見、西田貞典

5月1日 日 朝六人、昼 人、晩 人

来客…高橋先生

当番者…西田貞典

11月24日 木 朝 11人、昼 10人、晩 12人

所感…阿部兄が快活であつた。併し僕は不愉快であつた。両者が混合して丁度いい料理が出来た、美味だ。之が吾の今日の料理に対しての心の影響であつた。

所感希望…今日から牛乳朝のむ事は禁じて、昼食がぱんなる故、昼食に用ふる事にしたのは誠に喜ぶべき点なり。晩餐鶏肉がありました、出汁があんまりうまく出ないのが残念であつた。

来客…夜日本国民高等学校の石山先生来寮ありたり、一食

当番者…阿部美雄君、西田貞典君

検印…樋口

11月25日 金 朝 12人、昼 12人、晩 11人

所感…寮の炊事をやるのが今年限りかと思ふとなんだか名残り惜しい様な感が致します。然しどうする事も出来ない。天命とあきらめる外至〔致〕方が無い。

所感希望…何も希望としては無い。人数の少ないのに何も献立の有無善悪はない。ただ僕としては食費の少なくなる様に心掛けて居るだけです。

来客…友部国民高等学校員石井先生（二食）

当番者…鈴木さん、桑野

検印…樋口

11月26日 土 朝16人、昼16人、晩16人

所感…入所当座の思ひ出で出します。あの時と今の差はほとんど違つ居る。入所当座は難儀して釜に火を付けた物でした。今は難の苦もありません。

所感希望…味噌があまりいので同一メ奴の代金なればもう少ししほからいのを願ふ。薪は余り高値に質入れて居る。

来客…友部より来て居る石山先生他四名

当番者…大江さん、小野

検印…樋口

11月27日 日 朝16人、昼16人、晩16人

所感…皆が一生懸命に甘藷販売して汗を搾つたのに、一刻も早く温かい御飯、温かい汁を食べさし度いのは山程でありましたが、どうも不行どつきに遅かつたのは残念であつた。

所感希望…なし

来客…友部日本国民高等学校石山先生外四名の来客あり。

当番者…樋口助手殿、西田貞輔

11月28日 月 朝17人、昼18人、晩18人

所感…少数なる残留隊にて当番は何にせよ早廻りだ。昨日やつたかと思ふと又本日なる具合だ。其れがためか飯も汁も上出来に出す様になつた。

所感希望…無し

来客…日本国民高等学校石山先生外六名中一名は昼夕食

当番者…赤間君、桑野

検印…樋口

11月29日 火 朝18人、昼11人、晩11人

所感…自治寮に籍を置いてより質よりみて三年になる。而し今になつて初めて日誌に迷天を述べる事にする。炊事!! 何の感激も有しなれば何の興味もない。而しその時にだけに故郷をおもひ出して来る。それが楽しい。

所感希望…牛乳は断全〔然〕一日に一回は飲まねばならぬ。何の為に俗人によりて

寮生に飲ませぬのだ』と言ひたい。而し自己の欲望と他人行義〔儀〕と正義との間にはそれだけの間数と余地とを持つてゐるか、知つてゐる人あるならば聞きたいのみ。  
（阿部記）

来客…なし（国民高校関係者朝食のみ七名）

当番者…鈴木良助氏、阿部義隆

検印…樋口

11月30日 水 朝二人、昼二人、晩一人

所感…あまりに人数の少き為めに炊事当番は二日置き事に廻つて来るのに平行〔閉口〕する。でも飯炊き練習するには此の上もありません。喜んで居ります。

〔以下赤色〕小野君、飯焚き講習と言はれるか、そんな小さなものではない。炊事と云ふ事はもつと大きな使命が有る筈。生命の原動力なるを思へば活眼を開いてほしい。  
〔以上赤色〕

所感希望…薪は経済すべし、沢庵を朝に使ふ様に致し度い。

来客…なし

当番者…大江卓見君、小野巧

検印…樋口

12月1日 木 朝二人、昼一人、晩一人

所感…〔以下赤色〕一日炊事をやつて所感無しとは在り得ぬ事だ。書くそのものか、小さい事でもあるか、皆心の糧とする事を思へば見のかしには出来得ぬ筈。〔以上赤色〕

来客…ナシ

当番者…佐藤條助

検印…樋口

12月2日 金 朝二人、昼二人、晩二人

所感希望…樋口助手殿に晩ライス□製造に手伝つていただく。以上

来客…なし

当番者…赤間道義君、西田貞典君

検印…樋口

12月3日 土 朝11人、昼14人、晚12人

所感…久しい間農場生活をして来た僕には、寮の炊事は余りにもみじめな感じがする。無理もない事である。すべてが不完全である。然し我等の先輩が皆この地にて基礎をきづかれて奮闘し在られるのを見て、不完全を転じて完全にするの言葉を今もしみじみと深く味ひ得た。炊事当番に当る者は人数も少数の事で在り、時間も在る事なれば、充分に献立を研究しつゝ意義在らしむる様にやつて戴きたい。樋口誌す

来客…ナシ

当番者…鈴木君、樋口

検印…樋口

12月4日 日 朝12人、昼11人、晚12人

所感…無し

所感希望…無し

来客…小野功君帰宅、昼食迄、小野憲君夕食より

当番者…小野功君、栗野

検印…樋口

12月5日 月 朝12人、昼11人、晚12人

所感…一寸家にかへつて中つ国に天降りした自分が、秋の日の静かに沈んでゆく頃、釜の火を見つめながら豆腐屋のラツパの音、自動車の音、すべての都会の騒音をきく時、生き行く者の雄々しきすがたを思ひうかべ、故郷の農民を思ひ、心ゆくまで秋否初冬の寂しさを味ひました。白菜漬をしやうと思つて材料を集めました、つい出来ませんでした。お詫び申し上げます。「午後県会傍聴にゆく」

来客…なし

当番者…桜井、小野

検印…樋口〔手書きのサイン〕

12月6日 朝12人、昼11人、晚12人

所感…ナシ

所感希望…一、炊事場の戸をしつかりしめて下さい（犬子が這入りますから）。一、食器をきれいに洗って下さい。右の通りしめした事を特に注意して下さい。

来客…ナシ

当番者…須藤大兄、清野

12月7日 水 朝二人、昼一人、晚二人

来客…なし

当番者…佐藤条助氏、西田貞典氏

12月9日〔8日はなし〕朝10人、昼8人、晚二人

所感…月寒く中天にかゝる。静かにふけゆく町の灯。感謝してねむりゆく。

来客…古川健三君、夕食一食たべて帰る

当番者…大江大将閣下、小野（憲）総理大臣

12月19日 月 朝13人、昼9人、晚15人

〔ページを飛ばして開いたページを後日使用か？〕

所感…解ハ炊事ニ有ル（阿部死）

所感希望…僕自身の事に就いて少し述ぶ。一体僕の炊事には何時も時間的にまづい部分があると思ふ。而しそれ自身は僕、つまり僕の時間なのだから仕方がない。□□時間と料理とは一致しないで困る。

当番者…鈴木良助、阿部盛雄

12月11日 日 朝二人、昼12人、晚二人

所感…近日は馬鹿に日が短かい。四時には小暗し、五時は最早暗い。街道の車輪にも足跡にも氷が張る。日に日に寒気が増す。斯うした晩秋の炊事も楽ではない。考うれば考へる程身の向上を計る道だ。

所感希望…彼の味噌漬は美味しかった。大根卸しの辛いのは閉口して了つた。

来客…なし

当番者…桜井平、西田貞典

検印…樋〔赤色でサイン〕

12月12日 月 朝12人、昼12人、晩12人

所感：ナシ

所感希望…自治寮に於ける炊事の献立や料理の方法は、我等家に帰えつてからも大切であると思ひ、真心を以つて万事に取りかゝつたけれども、皆様に万「満」足を与へる様な料理が出来なかつたのは誠に申し訳も御座ひません。

来客：なし

当番者：阿部、清野

検印：樋〔赤色でサイン〕

12月13日 火〔日付のみ〕

12月14日 水 朝11人、昼11人、晩11人

所感…何の当番でも同じ事であるが、特に炊事当番は何回も重ねると心配が少なくなる。そして自己の思ふまゝになるので献立に以上「異常」を来たす場合がなきにしもあらずと思つた。其の点に特に気を付けなければならぬ。

所感希望：ナシ

来客：ナシ

当番者：須藤大兄、清野

検印：樋〔赤色でサイン〕

12月15日 木 朝11人、昼11人、晩9人

所感：ナシ

当番者：鈴木兄、佐藤

検印：樋〔赤色でサイン〕

12月16日 金 朝11人、昼9人、晩12人

所感：なし

来客：なし

当番者：桜井平、西田貞典

検印：樋〔赤色でサイン〕

12月17日 土 朝12人、昼12人、晩11人

所感…今朝は馬鹿に寒い。こう寒い時の炊事は実に愉快なり。炊事も上出来、天候も好日とで気分もほがらかであった。月が東天より上る頃は静けさ一潮加わり寒日のさへ渡る頃夢路は何処へ。

所感希望…ナシ

当番者…栗野、土屋

検印：樋〔赤色でサイン〕

12月18日 日 朝11人、昼6人、晩14人

所感…今晚の餅に際し、皆々様の厚き御同情を承りましたが、特に樋口大兄の如きは自から御手伝を戴きました事は、我等炊事当番者として心から感謝し厚く御礼を申し上げます。

所感希望…ナシ

来客…晩高橋先生

当番者…大江、清野

検印：樋〔赤色でサイン〕

〔次のページに「十九日の分を間違つて前に書いて仕舞つた。」とあり。〕

12月20日 火 朝16人、昼 人、晩17人

所感…あゝ今日の炊事は是で最終とも思はれた。併し、此の炊事場を徹底的に掃除をした処は云はれぬ処の快味はある。余りきたなくなるとどの点まで掃除して良いのやら一寸ためらう。併し出来た後の清快さは是又角〔格〕別。〔以下は赤色〕君達の徹底した掃除に依つて、炊事場は幾日振りにて更新の感あり。炊事場は特に此の気分が大切である。御苦労様でした。〔以上赤色〕

所感希望…来所者人名、小野功一、奥山信義両名（古川君昼食す。）

当番者…佐藤良次、佐藤條助

検印：樋〔赤色でサイン〕



12月21日 水 朝17人、昼45人、晩37人

所感：満鮮旅行隊長先生初め諸兄等元気で本日午前拾時帰所、我等残留隊喜んで迎ふ。「以下赤色」今日は旅行隊一同の元気なる姿を見て共に喜ぶ。炊事当番の諸兄は人員不明にて心配した事だつたであらう。材料は不足なりしも君達の真心込めての御馳走□□せし事であらう。「以上赤色」

所感希望：原大兄のハタハタの御馳走に皆んな舌鼓うつ。

来客：寺崎大工さん「赤色で」十五期卒業生海谷君「以上赤色」

当番者：西田貞典、柴田敏夫、奥山（信）

検印：樋「赤色でサイン」

12月22日 木 朝37人、昼31人、晩31人

所感：去らば炊事場よ。最期「後」の当番は実に名残り惜しいものだ。入所以来よりの体験も今日かぎりである。

所感希望：最後に望む。お互に食器を清潔に御願ひ申ます。

当番者：栗野、小野（弘）、大沼

12月23日 金 朝42人、昼32人、晩37人

来客：ナシ

当番者：土屋君、山田君、水沼君

12月24日 土 朝43人、昼77人、晩 人「献立欄に「夕食ハナシ」

所感：今日は最後の炊事だ。最全「善」の努力を尽し最後の御別れを致すべく努力致したつもりだ。サラバ炊事室よ。食器、道具、静物なれ共お別れは感慨無量。

所感希望：昼は油揚げ飯を炊き来客に御馳走すべく、吾等は献立調理せしも、限ぎられた料理材料と按配の下手な吾等コツク故、皆様に御満足を与へ得なかつた事でしょう。

来客：来客三十二名

当番者：樋口君、古川君、船山君、奥山君、江口